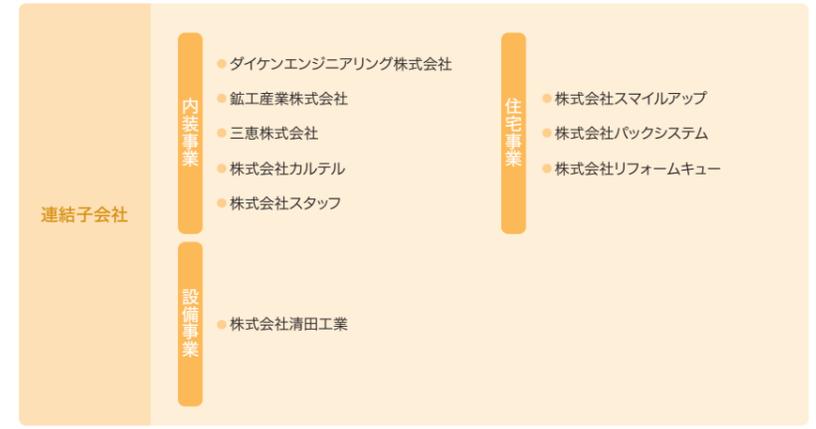
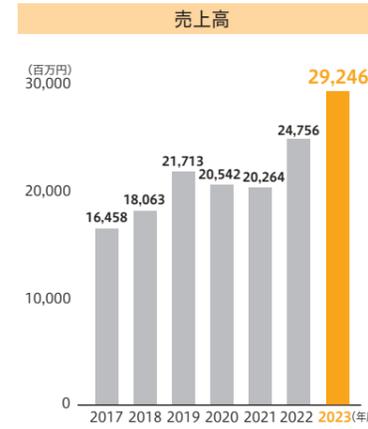
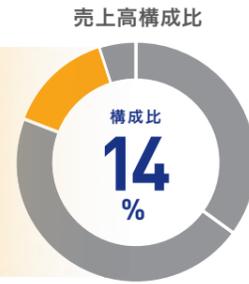


強みを活かした3つの事業

エンジニアリング事業

建材の提供から施工まで空間づくりをトータルにサポート

オフィスビル、ホール、学校などの公共・商業施設から住宅まで幅広い建物の内装工事を中心に、素材・建材の機能を最大限に引き出す空間づくりを手掛けています。



公共・商業物件



東京都庁(東京)

京都駅ビル(京都)

ホテル日航大阪(大阪)



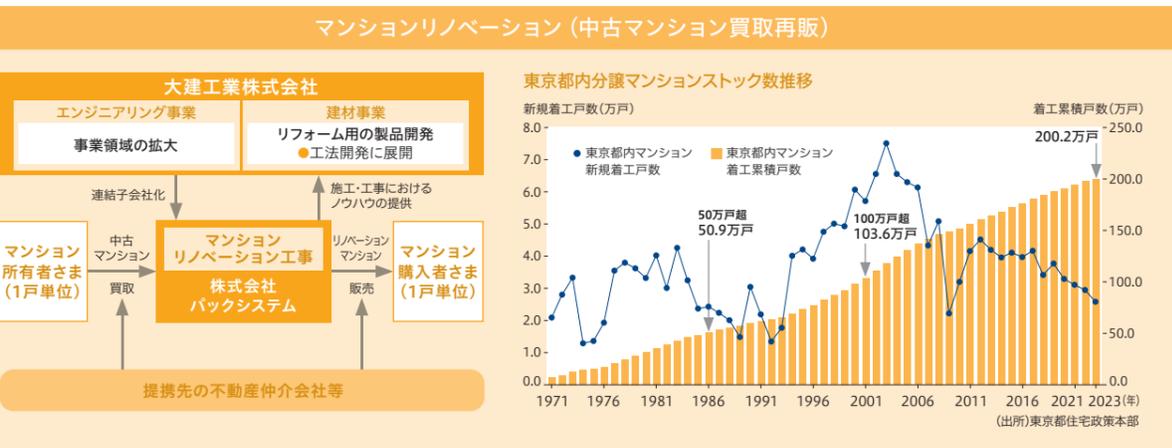
りんくうゲートタワービル(大阪)

常盤大学(茨城)

仙台国際空港(宮城)

施工事例

マンションリノベーション

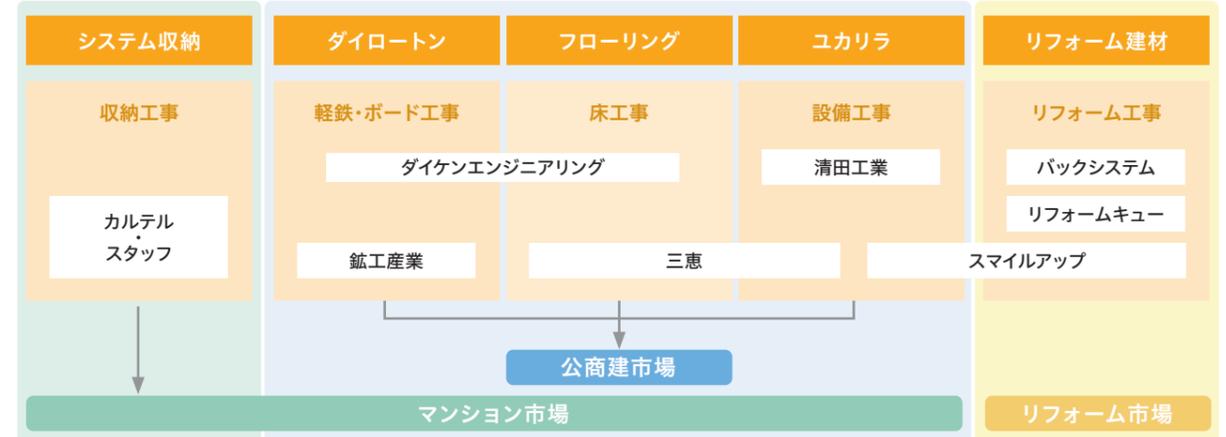


事業別戦略

- 素材・建材事業製品と工事機能とのシナジーの追求
- ニューノーマル時代の空間ニーズに対応した工事領域の拡大

価値創造

- ① グループの製品力を生かした工事領域の拡大、材工一貫受注体制の強化
 - ② 工事ネットワークを活用し、短工期、省施工などの工事ニーズを取り込んだ工法開発、製品開発の支援
- 首都圏エリアでのリフォーム・マンションリノベーションの売上拡大及び収益性向上
 - 大都市圏を中心に各種再開発プロジェクトの再開などにより内装工事の受注拡大
 - 材工一貫受注体制拡大のため、複数の工事会社を新たにグループ化



執行役員
エンジニアリング
事業統轄部長
寺岡 直人



エンジニアリング事業では、公共・商業施設、宿泊施設等の内装工事、住宅リフォーム工事、マンションリノベーションの3つの事業を手掛けています。2023年度の公共・商業建築分野においては、首都圏を中心に大型商業施設・オフィスビルの竣工が相次ぎました。今後も、大阪万博やIR開発が控える関西圏を含め、旺盛な工事需要が継続する見通しです。一方で2024年問題に端を発する建設業における労働力不足は

深刻で、時間外労働の上限規制、週休二日等休日確保により、工期遅延や労務費の増加等、事業環境の悪化が予想されます。住宅市場においては、新築マンション価格の高騰に伴い、利便性の高い立地の中古マンションに対する需要が強含みで推移しています。首都圏でマンションリノベーション販売を手掛けるバックシステム社の業績も順調に推移しており、当社の新しい事業の柱となりつつあります。このような市場特性を踏まえ、従来よりも省施工・工期短縮・騒音軽減につながる商品や工法の開発を進めるとともに、バリューアップした高意匠製品の投入で、より良い空間づくりに貢献していきます。さらに、今期より新たな取り組みとして、空間の音環境、温熱環境を向上させる当社独自のビジネスモデルの構築を進めています。空間の企画設計からコンサルティング、そして材工一貫体制による責任施工体制を整え、人々が集う空間のさらなる価値向上を目指し、エンジニアリング事業一丸となって取り組んでいきます。

大建工業グループの価値創造

価値創造の戦略

データ編